

# 地方創生交付金事業の評価シート（詳細版）

資料 5

No	基本目標	事業名	事業の概要	実施事業	H29実績額 (単位：千円)		本事業における重要業績評価指標（KPI）					内部評価					
					総額	交付金 充当額	指標	単位	事業当初 指標値	今年度目標 増加分	今年度 目標値	実績値	目標値に 対する 達成度合い	事業効果	事業の評 価	担当課評価	事業を進める中での 課題・苦勞
1	【基本目標 1】 上天草市へ の人の流れ をつくる	【推進交付金】 補助率1/2  ヘルSEAアイラン ドづくり事業（単独 事業）	<p>【観光】</p> <p>①マリランドのイメージを定着させるため、冒険や海賊をテーマにしたイメージづくり及びイベントを実施した。</p> <p>②情報発信の主流である動画やアニメコンテンツを活用したPR戦略を学ぶセミナーを実施した。</p> <p>③観光ブランディング計画策定・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の価値と魅力を統一したイメージで発信するため、上天草市観光ブランディング計画（案）を作成した。</li> <li>・本計画の推進に合わせ、本市への観光客の流れをつくる仕組を構築するため、公共交通機関を使ったモニターツアーやレンタカーの試験運行などの取組を交通事業者等と連携し実施した。</li> </ul> <p>④ブランドイメージ向上プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の観光ブランドイメージを高めるための観光プロモーションを行った。</li> </ul> <p>【都市整備課】</p> <p>千歳山伐採整備</p> <p>前島・千歳山地区等の景観を整備するため、昨年度選定を行い、今年2月に千歳山の伐採を行った。</p> <p>【健康づくり推進課】</p> <p>昨年度作成した事業計画に沿って、当市の環境資源を活用した人間ドックモニター事業や、既存の健康イベントやウォーキングイベントを活用して温泉大学やヘルSEAメニュー開発、ライフキネティック体験を実施した。</p> <p>また、環境資源である温泉施設の改修を行った。</p> <p>【農林水産課】</p> <p>本市沿岸においては、平成5年頃までクルマエビ養殖が盛んに行われ、全国屈指の生産量を誇っていた。しかし、廃業が進み、クルマエビ養殖場は遊休状態となり、景観も損ねている。そこで、ナルトビエイ等の食害を受けない遊休クルマエビ養殖場を活用し、低コストなアサリ養殖の産業化を図るもの。</p>	54,994	21,414	観光入込客数	件	1,423,480	42,520	1,474,000	1,631,537	①目標値を達成	①地方創生に非常に効果的であった	A	<p>【観光】A</p> <p>これまで取り組んできた観光資源の磨き上げや、観光人材育成、観光プロモーション等の効果から、本市が選ばれる観光地となりつつあり、観光入込客は増加している。特に外国人観光客は、急激に増加しており、2019年から県内でも国際スポーツ大会等が開催されることから、今後も外国人観光客の増加は期待できる。</p> <p>観光拠点イメージ発信事業については、スタンラリーの実施、メディア及びSNSを活用した情報発信等により、冬の閑散期対策として、一定の効果があった。</p> <p>【都市整備課】A</p> <p>伐採を行った箇所の眺望は確実に改善されており、観光客の印象向上に寄与すると考えられる。</p> <p>【健康づくり推進課】B</p> <p>健康イベントやウォーキングイベント参加者は健康意識の高い人が多いため、今回実施した事業への参加者数が目標値を超えることができたと考えられる。</p> <p>【農林水産課】C</p> <p>遊休クルマエビ養殖場を利用し、あさり養殖の産業化及びブランド化を目指し事業を実施してきた。平成29年度にあさり稚貝150万個を用いて養殖を開始する予定であったが、納入業者のトラブルによりあさり稚貝が32.3万個しか納入できなかったため、あさり稚貝32.3万個を用いて養殖を開始した。32.3万個では、実証データが不足するため、産業化及びブランド化に向けたデータを収集中である。</p>	<p>【観光】</p> <p>市民や関係団体を巻き込んだ事業の推進するための工夫が必要。</p> <p>【都市整備課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観向上に有効な伐採エリアの選定。</li> <li>・地元住民との伐採方針のすり合わせ。</li> </ul> <p>【健康づくり推進課】</p> <p>今回、市外からの参加者が多いイベントにおいて当事業を実施したため、当課の本来の業務である「市民の健康増進」に寄与することができていない。</p> <p>【農林水産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休クルマエビ養殖場の選定。</li> <li>・あさり稚貝の納入が指定した数を確認に納入できる保証がないため、納入方法の検討。</li> <li>・あさりの天敵であるホトトギスガイが混入するため、定期的に駆除をした。</li> <li>・海藻が繁茂しあさを窒息させるため、定期的に除去した。</li> </ul>	<p>【観光】</p> <p>観光ブランディング計画に基づき、本市の観光ブランドイメージを定着させる取組を推進することで、観光入込客の更なる増加を図る。マリランドのイメージをより一層定着化させるため、夏～秋にかけて事業を実施する。</p> <p>【都市整備課】</p> <p>カントリーパーク花海好、維和桜公園、龍ヶ岳山頂公園の景観の障害になっている樹木を伐採する。</p> <p>【健康づくり推進課】</p> <p>昨年度の実績や課題を踏まえ、また、今後どのように事業を展開し目標達成につなげるかを見据えたうえで、今年度は、市外の人を対象とした事業は昨年度程度に抑え、「市民の健康増進」を促せる事業展開に重点を置く。</p> <p>【農林水産課】</p> <p>平成31年8月に1,177,000個のあさりを取り上げる。取り上げたあさりを基に、ブランド名の考案、デザイン作成、出荷時に必要となるタグの作成を予定。</p> <p>地元漁協が主体となってブランドの規格を満たすあさを市場へ出荷するために活動を行う。</p>
						前島エリアの観光入込客数	人	263,179	8,000	279,000	659,958	①目標値を達成	①地方創生に非常に効果的であった				
						ヘルスプロモーションイベント参加者数	人	0	205	205	595	①目標値を達成	②地方創生に相当程度効果があった				
2	【基本目標1】 上天草市への人の流れをつくる	【推進交付金】 補助率1/2  シーリゾートトライ アングル構想・推進事業 (単独事業)	<p>【企画政策課】</p> <p>前島・楕合・天草ビジターセンターにおける三角エリアにおいて、観光客が長期滞在して一帯を十分楽しんでもらうために必要な体制整備及び周遊プランの作成など、本市における観光交流拠点としての魅力向上に資することを目的にシーリゾートトライアングル構想を策定した。</p> <p>また、近年増加傾向にあるサイクリストの利便性を向上し、更なる誘客を目的として、配送型のレンタサイクル及びサイクルラックを導入した。</p>	12,483	6,241	宿泊者数	人	245,787	12,289	258,076	239,835	①目標値を達成	②地方創生に相当程度効果があった	C	<p>【企画】C</p> <p>平成29年度は、構想の策定段階であり、直接は宿泊者数増加に結び付くものではないが、商工関係者等を構成員とした協議会を立ち上げ、それぞれの立場から、地域振興に向けた意見交換が実施出来た。</p> <p>レンタサイクル事業については、実施時期が、冬という事もあり、思うように利用者は伸びなかったが、利用した人からは、満足の声が多かった。フィッシャリーナの係留数については、プラン策定後の平成30年度からの目標設定となるため、目標及び実績は「0」</p> <p>ただ、交付金事業に関係なく、実績としては39件の係留の申込があった。天草地域の認知度の向上に加え、既存オーナー等による口コミ効果により増加したものの。（釣りスポット・係留料金が安い等）</p>	<p>【企画】</p> <p>本構想の策定は、主に観光振興を図るものであるが、他部署においても、類似する内容の計画や構想等があるため、それらとの調整・整合性に注意しながら実施する必要がある。</p>	<p>【企画】</p> <p>平成30年度は、前年度に策定した構想を基に、人材育成及び商品開発業務を実施する。また、レンタサイクル事業については、前年の反省点を踏まえて、実施時期等、運用方法を見直して再度実施する。</p> <p>ハード事業については、前島へのアクセスが車での乗り入れがほとんどのため、海上からのアクセスを可能とし、当該地区への更なる誘客を目的として、棧橋を整備する。</p>
						レンタサイクルの利用者数	人	0	300	300	11	④目標値の達成は5割未満	④地方創生に対して効果がなかった				
						フィッシャリーナ天草への新規係留数	隻	0	0	0	0	①目標値を達成	①地方創生に非常に効果的であった				
3	【基本目標1】 上天草市への人の流れをつくる	【推進交付金】 補助率1/2  湯島で生きる“島活”応援事業 (単独事業)	<p>【観光おもてなし課】</p> <p>①恋する灯台周辺環境整備</p> <p>恋する灯台に認定された湯島灯台周辺の雑木の伐採等などの環境整備を行った。</p> <p>【企画政策課】</p> <p>②お試し体験ツアーでは、日帰りプラン・1泊2日の宿泊プランで、家族や友人同士など計40名が参加した。湯島島内を散策したり、フラワーアレンジメントや大根収穫など湯島のスローライフをPRできた。</p> <p>③肥後六華の倉負担金については、コワーキングスペースなどの検討をしていただいたが、検討結果は特になかった。次年度以降事業実施の必要性を検討する。</p> <p>④スローライフプロモーション活動委託</p> <p>湯島において撮影した映像を、youtubeにて公開し、域外にスローライフの魅力を発信した。</p>	7,332	3,666	湯島定期船を利用した入込人数	人	16,284	600	16,884	17,988	①目標値を達成	①地方創生に非常に効果的であった	B	<p>【観光】A</p> <p>湯島灯台の周辺環境整備実施するにあたり、地域住民と共同で整備を実施したことで、整備対象となった湯島灯台を観光資源として活かす取組を地域住民が率先して行うようになった。</p> <p>【企画】B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スローライフプロモーションについては当初の予定と変更となったが、本事業のみならず湯島の魅力を域外に発信し続けたことから湯島商船の利用者数が向上したものと考えられる。</li> </ul>	<p>【観光】</p> <p>観光資源として活用していくため、清掃作業などの維持管理費が増加する。</p> <p>【企画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール調整に時間を要していたため事業実施（伺い）～撮影もずれ込み慌ただしく終了したことから事業実施までの取り掛かりを早く行う。</li> </ul>	<p>【観光】</p> <p>今後も観光客が訪れたい観光スポットとして、地域と連携しながら管理を行っていく。</p> <p>【企画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の事業予定については完成した作品を映画祭に出品し、本市湯島の魅力向上及び知名度向上についてスケジュールを立て、進捗状況管理を行いながら自稱推進を行う。</li> </ul>
						湯島地区の空き家登録件数	件	0	2	2	0	④目標値の達成は5割未満	④地方創生に対して効果がなかった				
						湯島地区の移住者数	人	8	2	2	1	③目標値の5割を達成	④地方創生に効果があった				

# 地方創生交付金事業の評価シート（詳細版）

資料 5

No	基本目標	事業名	事業の概要	実施事業	H29実績額 (単位：千円)		本事業における重要業績評価指標（K P I）					内部評価						
					総額	交付金 充当額	指標	単位	事業当初 指標値	今年度目標 増加分	今年度 目標値	実績値	目標値に 対する 達成度合い	事業効果	事業の評 価	担当課評価	事業を進める中での 課題・苦労	事業実施を踏まえて H30年度以降における取組
4	【基本目標 1】 上天草市への人の流れをつくる	【推進交付金】 補助率1/2  観食住サイクル事業 (単独事業)	<p>【企画政策課】</p> <p>⑦移住促進のための産業体験イベント 関東圏で製品の展示・販売、疑似体験システムを活用して仕事を紹介し移住を喚起。 ⑧移住促進グルメコンテスト 優秀者に空き家を活用したチャレンジショップを提供し起業と空き家対策を実施。</p> <p>【観光おもてなし課】</p> <p>⑥観光大学運営業務 ・地域資源の磨き上げを目的に、着地型旅行商品を開発するためのワークショップを開催し、実施旅行商品の造成販売まで行った。 ・おもてなし力向上を目的に、宿泊施設を対象として、インターネット口コミサイトを活用しておもてなし総合診断を実施した。 ・将来を担う地域の子供向けに地域愛醸成を目的とした観光講座を実施した。</p>	<p>①食の楽園上天草フェア ②販売促進スキルアップ研修事業 ③熊本マルシェ美味かモン出店 ④市産品加工品開発支援 ⑤ブラッシュアップ商品販路拡大事業 ⑥観光大学運営業務 ⑦移住促進のための産業体験イベント ⑧移住促進グルメコンテスト ⑨チャレンジショップ改修補助【未実施】 ⑩シティプロモーション事業</p>	46,611	19,055	1年間の新規取引件数	件	0	15	15	16	①目標値を達成	①地方創生に非常に効果的であった	A	<p>【産業政策】 A</p> <p>事業が進むにつれ、事業に参加する事業者の意欲は高まっており、本市が目ざす事業者の自立に向かっていると見える。</p> <p>【企画】 A</p> <p>・移住促進のための産業体験イベントについては、本市と東京都のイベント会場をつなぎ、リアルタイムでのトークライブや映像を活用したプログラムは来場者から高評価を得られた。また映像配信も含め本市自体の価値をPRする機会となった。 ・移住促進グルメコンテストについては、本市において食のグランプリを開催し、優秀者には本市への移住等を条件としチャレンジショップの改修補助金を補助することで、移住者増を図った。なお、改修補助金の対象となる優秀者はH30年度中に改修補助の申請を行う必要がある。 ・シティプロモーション動画の第2弾として動画を制作及び公開し、イベントを東京都で実施し、市外に本市のPRを実施できたことで観光の選択肢の一助となったと考えられる。</p> <p>【観光】 B</p> <p>様々な人材育成事業を通じて、観光客の受入に対する市民や観光施設等の個々の意識が向上した。</p>	<p>【産業政策】</p> <p>6次産業に携わる事業者のスキルアップは、全体的に低調といえる。これは、生産者が生産、加工、営業、販売までを行うことから事業者の担う役割が多いためといえる。</p> <p>【企画】</p> <p>・移住促進のための産業体験イベントについては映像機器のトラブル等もあったことから、イベント会場との調整は必須。また本市ならではの魅力が、移住当人の興味趣向に沿わない限りは具体的な相談に結びつかず、相談窓口へ誘導することができなかった点については今後の課題としたい。 ・コンテスト参加者の選定、審査基準等準備不足が多かったことから、目的に沿った事業実施を行うためにも、事前準備をしっかりと行う必要がある。 ・事業実施の予定等がタレントを使用したイベントであったことから不確定要素が多く、振り回されることもあったことから、どのような求めに対しても対応できる事前準備が必要となる。</p> <p>【観光】</p> <p>人材育成については、継続した長期的取組が必要であるが、市民全体の観光への参画の意識を高めることが難しい。</p>	<p>【産業政策】</p> <p>平成30年度⑤の事業は、販売に注力した事業展開を考えており、生産者や加工業者にだけ頼る販売促進ではなく、問屋機能を持つ事業者が間に立ち、市内産品の流通拡大を目指す。関連する①～④の事業についても、⑤の事業と連動させながら、効果的な事業展開を図る。</p> <p>【企画】</p> <p>・シティプロモーション事業については、予定が度々変更となり、契約期間の延長が必要となったことから、事業実施の日程を見直すこと、及びスケジュール管理の徹底に努める。</p> <p>【観光】</p> <p>観光人材育成は観光を推進するに当たり、重要な取組であることから、今後も観光協会等と連携しながら継続的に観光人材育成を実施していきたい。</p>
入込客数	人	1,449,000	30,000	1,529,000	1,631,837	①目標値を達成	①地方創生に効果があった											
移住者数	人	0	35	35	45	①目標値を達成	①地方創生に非常に効果的であった											
							農林水産物ブランド化補助金の採択件数	件	0	10	10	12	①目標値を達成	①地方創生に非常に効果的であった				
5	【基本目標 1】 上天草市への人の流れをつくる	【推進交付金】 補助率1/2  プロスポーツ団体交流事業	人工芝サッカー場のオープンを翌年度に控えたタイミングで、本市主催のキッズサッカー大会を開催するとともに、トップアスリートの育成や競技レベルの向上を目指す目的で、元女子プロサッカー選手によるサッカー教室を開催した。	①キッズサッカー大会運営 ②プロスポーツ選手招待	2,430	1,215												
6	【基本目標 1】 上天草市への人の流れをつくる	【拠点整備交付金】 補助率1/2  スポーツ施設を拠点とした稼げる地域づくりプロジェクト	テニスコートやサッカー場を整備しているところであるが、観客席が少ないという現状がある。 また、炎天下や雨天時に対応した屋根付きの観客席がないため、当該機能を備えた観客席の整備及び現存する陸上競技場のクラブハウスをサッカー利用に即したものに改修した。	①陸上競技場及びテニスコートの観客席整備 ②陸上競技場のクラブハウス模様替え <交付金対象外> ③陸上競技場人工芝の張替え	62,829	31,316	松島総合運動公園施設利用料	千円	8,800	-1,000	7,800	7,741	②目標値の7割を達成	②地方創生に相当程度効果があった	B	<p>【社会教育課】 B</p> <p>サッカーの競技レベル向上やサッカー大会や教室を通じて、対外的なPRにつながった。</p>	<p>トップアスリート（元プロ選手含む）を講師として招く際の調整等が難しく、またそれに伴う謝金も高額となること。</p>	<p>今年度から、季節ごとに市主催のジュニアサッカー大会を開催する。 同大会への参加チームは、市内外の比較的高いレベルのチームが参加することとし、サッカーを通じた本市内の交流人口の増加及び競技レベルの向上を目指す。</p>
						観光入込客	千人	1,423	200	1,623	1,631	①目標値を達成	①地方創生に相当程度効果があった					
								観光消費額	億円	70.0	9.9	79.9	114	①目標値を達成				

<凡例：選択肢>

A	①目標値を達成	B	①地方創生に非常に効果的であった	C	例：すべてのK P Iが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
	②目標値の7割を達成		②地方創生に相当程度効果があった		例：一部のK P Iが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
	③目標値の5割を達成		③地方創生に効果があった		例：K P Iの達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組みが前進・改善したとみなせる場合
	④目標値の達成は5割未満		④地方創生に対して効果がなかった		例：K P Iの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組みとしても前進・改善したとはいえないような場合
	A	目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。			
	B	ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。			
	C	目標をやや下回っており、要因の分析を要する。			
	D	目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。			
	E	目標値又は、事業自体の技術的見直しを要する			